

イベント

実践女子大がJRの鉄道高架下に幻想的な照明空間を企画

実践女子大学（東京都日野市。田島眞学長）は、3月24、25日の2日間、JR南武線稲城長沼駅（東京都）の高架下「くらす広場」で開催されるイベント「光の森」言葉と灯りと」で、幻想的なライトアップ空間の出現を企画。

同イベントは、JR東日本八王子支社が推進する、南武線矢野口ー南多摩駅間を中心とした、沿線活性化プロジェクト「くらすクラス」の開校1周年を記念したもの。



(C) 遠藤ちえ/Chie ENDO

「ライトアップ空間」のイメージ

「くらすクラス」を運営する、一般社団法人いなぎくらすクラスが主催、JR東日本八王子支社、実践女子大、空間演出プロジェクト「空間時間」が連携して実施する。

今回のライトアップ演出を企画したのは、同大生活科学部生活環境学科建築デザイン研究室（高田典夫教授）と、空間演出プロジェクト「空間時間」（遠藤ちえ氏）。

同研究室考案のLED電球を使った「灯りのイェ」を手作りの檯に灯して、会場の「くらす広場」の空間を明かりで演出。「光の森」を構成するのは、一つ一つの「灯りのイェ」で、同研究員の学生がフアシリテーション、参加者が考える小さなアイデアが寄り集まって社会を照らす光となる、という願いが込められている。

また3月19日には「灯りのイェ」ワークショップ「光の森」イベント実施に先立ち、灯り制作のワークショップも実施された。

■開催日時：2017年3月24日（金）、25日（土）17時～20時半（雨天決行）

■会場：JR南武線稲城長沼駅高架下「くらす広場」

■参加費：無料

CS

ヒストリーチャンネルが本邦初の「監獄モノ」2本放映

ヒストリーチャンネルは4月、「特集：ザ・逃亡」と題した番組群を放映中でも本邦作品の2作品が注目だ。

◆「驚愕の真実！アルカトラスからの脱出」

カリフォルニア湾に浮かぶ孤島・アルカトラスは、かつて「脱獄不可能な監獄」を誇り、日本でも有名だが、半世紀前3人の囚人が前代未聞の逃走を成功させ、これがもとで同刑務所は閉鎖に追い込まれた。だが史上最大級の捜索にもかかわらず、いまだ誰一人も捕えられていない。

しかし今回、長い沈黙を破り、彼らの親族達が、重い口を開き始めた。3人はなぜ脱獄できたかを裏付ける証拠を提示しながら、今なお潜伏する可能性を語った。その後、親族らは法的機関と協力体制を取ることを決断。3人の行方を追う。

●放送日：4月11日（火）23時～25時／再放送：4月15日（土）22時～24時他。

◆「潜入調査！監獄島「アルカトラス」

「アルカトラス」にまつわるイメージを詳細に追いながら、この刑務所の実態を熟知する人物達のインタビューを交え、同刑務所の別名「ザ・ロック」を紐解く1時間番組。最上級の警備で脱獄不可能と呼ばれるようになったルーツをたどり、1962年の発生当時から半世紀を経てもなお未解決の脱走劇として、謎だけが残る象徴的な事件を掘り下げていく。

●放送日：4月10日（月）23時～24時／再放送：4月15日（土）24時～25時他。

脱出不可能と言われたアルカトラス刑務所

